

広報

県遊協

山形県遊技業協会 TEL 023-615-6922 FAX 023-615-6923 E-mail yamagata@zennichiure.n.or.jp

★県遊協理事会で「のめり込み防止」入りの広告掲載を承認

☆県遊協9月定例理事会を開催

9月25日午後1時から、県遊協会議室において9月の定例理事会を開催し、のめり込み問題への対応について協議しました。

①のめり込み問題への対応について

本事案は、9月19日開催の全日遊連理事会の席上で審議した案件であり、「広告チラシを新聞折込する場合に一定の割合で紙面にのめり込み防止の文言を掲載すること」とした全日遊連の決議事項を県遊協も追認して実施することとしたものです。当県決議については、「県遊協発第132号通達」により組合員に発出済みであり、10月16日から実施するようにお願いしております。

全日遊連では、警察庁の強い指導のもと10月1日からの実施を求めています。当県は10月16日からとしておりますので誤りのないようお願いいたします。

※県遊協理事会の他の承認案件等について

②健全営業・暴力追放大会の開催について

10月22日（水）午後1時・パレスグラウンダーにおいて開催されます。なお、当日は昼食を準備しておりますので多数の参加を期待しています。

③県受動喫煙防止対策事業者協議会の設立

去る8月11日（月）グラウンドホテルにおいて設立総会が開催され、当組合専務理事が副会長に選任されております。条例設置反対に向けて活動して参りますのでご協力をお願いします。

④PSリサイクル東北の遊技機リサイクル協会への加入について承認しました。

⑤賞品提供における「一物一価」の遵守について通達（県遊協発第130号）を发出し、周知徹底を図りました。法令遵守宜しく願います。

⑥県遊協表彰の審査について

榊原産業 東根市「ベガス」窃盗被疑者の検挙協力功労 承認

⑦次会理事会等の開催について

次会理事会 11月25日（火）午後1時 会議室
事務局研修 12月2日（金）午前11時 会議室
⑧全国ファン感謝デー取扱数 205セット
ご協力誠に有り難うございました。

★全日遊連・全国理事会を開催

H26・9・19 13:00 第一ホテル東京

①のめり込み問題への対応について

県遊協の①と同じです。省略します。

②「ECO遊技機及びECOシステムに関する条件」に対する回答について

ECOシステム等について日工組から開発同意を求められていましたが、条件面について同意できない点があり、「不同意」として回答しました。

○報告事項

③災害被災地組合に対する見舞金の支出 広島県

④第24回ファン感経過報告 10952セット（2.6%増）となっており報告が有りました。

来年度の第25回も実施するとの報告が有りました。

⑤平成25年度分の電気使用量調査報告

本県は100ホールが報告。96.2%でした。

⑥推進機構定例理事会・リサイクル推進委員会・中古機流通協議会・セキュリティ対策委員会・遊技産業活性化委員会などの会議の開催報告。

⑦ロッテ商事との契約改定・フクダ電子との契約商品などの報告がありました。

理事会の最重点は①の「のめり込み問題への対応」であり、各理事から色々と意見が出ましたが、最終的には「賛成大多数」で執行部案が可決承認されており、その後県遊協も承認しております。

★「人生は冥土までの暇つぶし」

右は 僧侶・小説家・参議院議員 今東光師

歴史上の偉人に短命が多いのは、寝る間も惜しんでひたすら没頭し、人生を充実させて偉業を達成したからか。平和で飢える心配のない現代はぐうたらに生きていても80年は生きる。何かをなすことが生きる意味ではない。他人に迷惑をかけなければどう生きようと勝手。どのように生きるかなど正答はないのだから。もつと気楽に。

●ある業界紙の記事からの抜粋

「ギャンブル依存症536万人」報道でパチンコ業界にも批判の矛先

★警察庁が業界団体に対して新たな依存症対策の取組みを求める
厚生労働省所管の研究班が、8月20日に発表したギャンブル依存症に関する調査結果で、依存の疑いがある人が国内成人全体の4.8%にのぼる536万人と報告された。新聞各社はカジノ構想への影響を報じるとともに、「パチンコやスロットなどが身近で、日本は世界で病的賭博の割合が最も高い国の一つ」との研究班関係者のコメントを掲載した。一方、警察庁は8月、遊技産業活性化委員会の会合において依存問題への取組み強化を要請。依存問題への関心はカジノ法案の審議入りが予想される臨時国会を前に益々高まりそうな気配だ。との記事。

更に同紙は、「警察庁が業界に対して依存問題に対する新たな取組みを求めている」秋の臨時国会においてカジノ法案が審議入りすることが濃厚となる中、カジノ慎重派・反対派等がその負の部分と言うべき「ギャンブル依存症」を積極的に取り上げ、社会的な悪影響を問題視している。ギャンブル依存症とパチンコ・パチスロの「のめり込み」問題を一緒にし、医学的・科学的な視点を置き去りにしたまま不要論を唱える声もあるなど問題は複雑さを増している。そんな中で警察庁は、これまで全日遊連が行って来た「のめり込み対策」に一定の評価をするものの、「遊技産業の大きさに見合ったのめり込み対策を求めた」と言われている。業界としては、政治の動きをにらみながらのめり込みに対する対策を迫られているのかもしれない。反対派の国会議員からの質疑に対して、きちんとした取組みを説明できなければ、カジノとともにパチンコ業界も攻撃にさらされる可能性が十分ある。一方、正しい分析に基づいた説明を行う必要があるはずの業界側は、「パチンコ依存の実態を正確に検証できる基礎データすらないのが実情だ」と指摘している。

※カジノ法案の行方はまだ不透明であるが、いずれ決着のつく問題、さてどうなるか。

●少年野球教室「元気にはつらつと」

今年で9回目となる少年野球教室が9月14日午前9時から、西村山郡中山町長崎地内の「中山町民野球場」で開催されました。県野球スポーツ少年団の子供達（一年生から六年生まで）232名が参加し、ピッチングやバッティング、走塁や守備などに汗を流しました。講師の先生は、ヤクルトスワローズOBの井原慎一郎氏・寺沢高栄氏・井上洋一氏・大川章氏・宮城弘明氏の5名で4班に分かれて練習しました。今年参加人数が200名を越えたので講師の先生方も大変でしたが、参加した皆さんそれぞれが目を輝かして一生懸命に練習していました。

また、一緒に参加していたいた監督・コーチ・父兄の皆さんにも研修の補助や駐車場の整理、などを手伝っていただきました。また、山形ヤクルトの皆さんにも飲料水を頂いたほか野球教室の開催に尽力いただき有り難うございました。



少年野球教室練習風景



朝夕めっきり寒くなってきました。おっと油断大敵です。車の中はまだまだ暑いのです。気を緩めないでしっかり巡回です。

編集後記

全国区のホールの皆さん、山形県へ初めて来た方にお話しします。これからの山形はうまいものがずらりと並びます。リンゴ・ラフランスを始めとした果物類、日本一うまい米「つやひめ」・米沢牛すき焼き、ラーメンにおそば、多彩な漬け物等々うまいもの日本一です。是非お試しを。 熊坂